

なごみ通信

第27号
発行日
平成28年
4月22日(金)
社会福祉法人
なごみかぜ
なごみかぜ工房
0538-45-2771

おつかれさん会

三月の年度末のお楽しみ、みんなこの日を待ちわびていました！三月十九日(土)はおつかれさん会でした。いつも通りに工房へ到着したみんなを待っていたのは、「始球式」という名の「支給式」！ピッチャーが投げた新聞紙玉を



バッターが見事空振りしてスタート。各部のスタッフが、一年間のみんなのがんばりをねぎらいながら、一人一人にボーナスを支給していきましました。



始球式！(支給式！)

いやーそれにしても、みんなよく食べる食べる。オードブルに数種類のカレー、パスタに和食、とってもメニューが豊富なバイキングの料理を、あれやこれやと取って席に着き、食べたらまたお代わり！しめは数々のスイーツとフルーツで。ボーナスで心がいっぱいになって、バイキングでおなかがいっぱいになって、また来年度へ向けて頑張ろう！と誓い合ったみんなでした。



お～いすい～！



コラボ商品販売しました。

三月に、袋井特別支援学校と、なごみかぜ工房とのコラボレーション商品を販売しました。クラフト紙工房 Fukutoku のかわいいカゴと、工房のクッキーとガーゼハンカチのセット。大好評の内に完売する事ができました。何よりうれしかった事は、支援学校の皆さんの作品と一緒に商品を作る事ができた事です。お買い上げ下さったみなさま、ありがとうございました。



おいしそう～！



かわいいセット！



がんばろぞ！

しんねんど！

NEW 新販売所！

居宅介護支援事業のセントケア富士見さんでパンの販売をさせて頂けることになりました。「いつ来てもいいよ」と、とても優しい言葉をかけて頂きました。

これから末永く、よろしく

お願いいたします！

ご退職



内藤和美さん

平成二十五年から、工房とはるかぜで勤務していたスタッフが、内藤和美さんが三月で退職されました。最後の勤務日の三月

三十一日は仕事開始前、お別れ会となりました。各部の良さを色々と言って頂き、色んな事に、「びつくりポン！」だったと、元気で明るいお別れの挨拶を言って頂きました。工房みんなからの寄せ書き色紙をお渡しすると、「ゆつくり読ませて貰うね」と笑顔を見せてくれました。今後はお孫さんのお世話をがんばるそうです。いつまでもお元気で！また遊びに来てね！

また、磐田便の運転手、千葉幸春さんが、四月十五日で退職となりました。



げんきでがんばってね！



千葉幸春さん

みんなのお父さんの存在だった千葉さん、長い間本当にありがとうございました。おつかれ様でした！



★**新メンバー&新スタッフ**

四月より、新メンバー、新スタッフが加わり
ました。ご紹介させていただきます。

荒木怜君(外作業室、内職班)



二月に支援学校を卒業したばかりの十八歳。「工房のお仕事、販売のお仕事、頑張っています。よろしくお願ひします！」

溝垣さち子さん(外作業室、内職班スタッフ)



月々金に勤務します。小学四年、年少、保育園の三人の男の子の母です。お仕事、頑張りますのでよろしくお願ひします。

村松泉さん(中作業室・手芸班スタッフ、はるかぜスタッフ)



工房では週三回勤務です。長期休みは、はるかぜにも入ります。皆さんと仲良くしたいです。よろしくお願ひします！

青島はるみさん(中作業室・内職班スタッフ)



午前中、工房で皆さんと一緒に内職をやらせてもらっています。皆さんの黙々と仕事に取り組む姿を見習ってがんばりたいと思います。

ジャムの販売再開しました!



みんなと作ります。

手作りパン&焼き菓子、手芸品と並んで工房の自社製品三本柱の一つ「手作りジャム」。諸事情により、しばらく販売を休止していましたが、この度ジャム作りスタッフ、永田絢子さんを迎えて製作、販売を再開いたしました！永田さんは磐田市在住のジャム作りの名人。長年、ご自宅でジャムを作り、イベント等で販売されています。永田さんが作る、素材を生かした天然由来のジャムは、まさに工房の目指すジャムと同じ！という



完成しました!

事で、製作をお願いしました。再開にあたり、パッケージはリニューアルし、瓶詰となりました。第一弾の「ブラックベリージャム」は、ただ今好評販売中です。これから暖かくなって、新しいジャムが続々登場予定です。どうぞ期待!



永田絢子さん

♥ **ブログ見てね☆**

この紙面の姉妹版(?) なごみかぜ工房のブログ、

「なごみの日々。なごみかぜ工房のブログ」をのぞいて見てください。工房の様子がちよくちよく更新されています。「なごみの日々。」で検索!

なごみの日々。

検索

🌸 **「風の駅 壺番館」**

袋井市田町に、社会福祉法人なごみかぜからグループホームが誕生しました。その名も「風の駅 壺番館」。

「どんな風にも、集う場があるとあります。いろいろな風が集まり、それぞれの道に進む、そんな姿を期待して」はるかぜ職員様から、命名して頂きました。また今後、障がいがあっても住み慣れた地域で暮らし続けるために、風の駅を増やしていく、という決意を込めて「壺番館」とつけました。



内部の様子。

六月、グループホームがスタートします。



外観です。

🎁 **寄与品**

布(廣岡典子さん)、漬物(高田扇帆さん) 苺、夏みかん(高橋美博さん) さつまいも(大場由美子さん) デコポン(内藤和美さん) たくさんの寄与品ありがとうございました。

ボランティア通信



榛葉久恵さん、大石初女さん 近藤ふじ子さん ご協力ありがとうございました。

